

動態観測 ～埋立部編 水圧式沈下計～

平成21年9月18日

D滑走路 埋立部 計器配置場所

H21.8.25 撮影



水圧式沈下計設置箇所

羽田再拡張 D滑走路建設工事共同企業体 提供

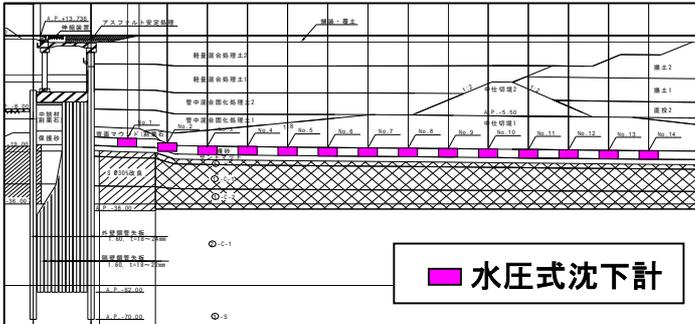
| | |
|------------|-----|
| 埋立部 | 栈橋部 |
| 接続部 | 連誘部 |
| 環境 | その他 |
| 工種名： 動態観測工 | |

水圧式沈下計は埋立部の随所に設置

今回は埋立部の動態観測について紹介します。埋立部には、施工時及び供用時の安定管理や接続部背面埋立部の圧密沈下に伴う地盤の側方変位を把握するため水圧式沈下計を随所に設置しています。

水圧式沈下計は、接続部背面の滑走路直下に集中的に14基を滑走路縦断方向に設置しています。

接続部背面には図のように、サンドマット内に14基の「水圧式沈下計」が設置されています。



水圧式沈下計



①: データ回収状況

送信機

受信機

データロガー

イメージ図

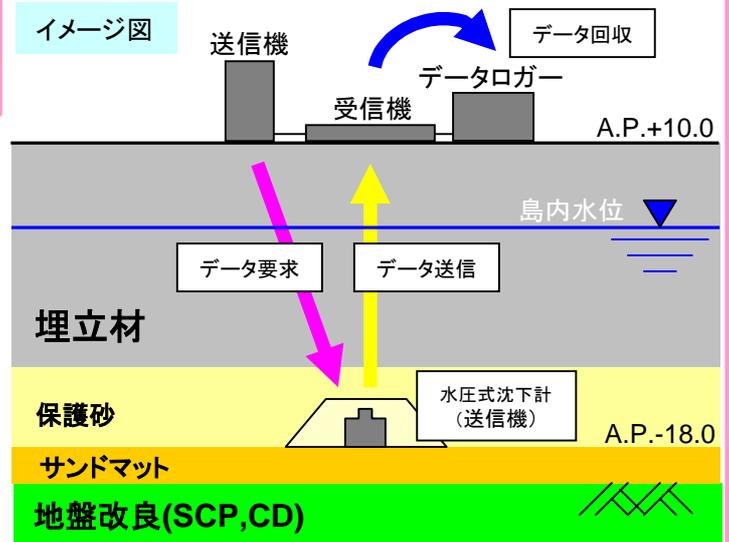


写真 はデータ回収の様子です。データ回収には「受信機」「送信機」「データロガー」を用います。図 のように陸上から送信機で計測データの送信を要求し、送られてきたデータを受信機で受け取り、データロガーに回収します。得られた計測データを用いて、施工時の沈下・安定管理を実施しています。